

明海大学 不動産学部

# 不動産の不思議

学生たちの視点と発見

第240回

## 【学生の目】

五月の連休に大阪へ帰省した際、吹田市のEXPOCITYに足を運んだ。09年閉園のエキスポランドの跡地にある日本最大級の複合施設で、05年11月に開設された。

様々なショップや飲食店、海遊館が運営する水族館「NIFREL」などがそろう、商業の面でもレジャーの面でも、余暇を満喫できる素晴らしい施設だ。

## 大型遊具も免震の時代へ

のは、施設のランドマークとして16年7月にオープンした観覧車「REHORSE OSAKA WHEEL」である。高さ123.8mは日本最高で、世界では5番目である。この観覧車の完成前は、私が通う明海大学近くの新浦安駅から二駅目の葛西臨海公園駅にある「ダイヤと花の大観覧車」（117.8m）が日本最高だった。

日本一の高さに恥じず、様々な工

技術が進んで様々な建物に免震装置が設置されるようになり、大阪では登録有形文化財の通天閣をレトロフィットにより免震構造とした（金子信孝「不動産の不思議第223回」18年2月27日）。

なぜ観覧車で免震構造が採用されたのか興味を持って調べた結果、95年に起きた阪神淡路大震災を経験した地域だからこそ、その対策に正面から取り組んだと考えるに至った。地震大国・日本初の安全対策であり、他の地震国に移転できる日本発の技術である。今後海外からも注目されることだろう。

# 大地震を経験したからこそ

夫がされている。例えば、ゴンドラには冷暖房と空気清浄の機能がある。

また、ゴンドラの床面が透明のアク

この観覧車が気になった他の理由は、建築基準法の規定との関係である。建築基準法の授業で、60m以上の工物は国土交通大臣の認定が必要だと学んだことが背景にある。高さが123.8mあればこれに該当するのではないかと、調べる。07年に改正された建築基準法で認定が必要になり、初めて国土交通大臣認定を受け

様々な工夫で話題と注目を集めるEXPOCITYで最も気になった

は観覧車の構造だ。この観覧車は世界初の免震構造の観覧車だ。積層ゴム支承の基礎免震を採用し、基礎と1階床の間に免震層を設けている。

た観覧車であることを知った。日々学習する知識を背景として疑問がわき、疑問にもとづいて調べ、その結果、新しい知識を得ることは楽しい。

## 【教員のコメント】

世界で最も有名な観覧車は英国国会議事堂近くのテムズ川に立つロンドンアイだ。景観を壊すと反対も強かったが意表をつくデザインもあって観光客誘致の目玉になった。地域活性化のために公共用不動産を活用するPREが日本でも本格化した。



金子 信孝  
不動産学部2年



エキスポランドの観覧車に学ぶことは多い